



Pick Up News なんとか7月中の発刊ができました。一部科目で対面授業が始まって喜んだのもつかの間、本学学生の新型コロナウイルス感染という事態に見舞われ、再びオンライン授業に戻し、大学として諸対応してきたところです。幸い学内での感染伝播には至りませんでした。学生・保護者の皆さん、地域・企業・社会の皆さんに対しては大きなご心配と、不安を与える結果となりました。あらためて、感染リスクは「ここ」にある、ということを一ひとりが意識して生活することが大切であることを思い知らされました。前期残りの講義と試験はオンラインでの実施となり、後期は一部を対面で行うことで検討中です。皆さんには大きな不自由をかけることとなりますが、「**三密防止対策**」を徹底しながら日々過ごしましょう。学科としては「**集団での会食等の自粛、感染地域への旅行等移動の自粛**」をお願いします。



4月に授与する予定だった表彰状を2年生に渡しました。あらためて、以下受賞の皆さんには心からの拍手を送ります。**東北工業大学成績優秀者賞**(学長表彰): 前年度の成績を基準としておおむね学年学生数の上位10%程度を表彰【2年生】秋保 来瑠美, 五十嵐 健太, 井邊 夏摘, 川島 優輝, 小林 真子, 今 千洋, 佐々木 悠人, 千葉 龍矢, 宮 こと, 吉澤 大和, 吉田 有佑, 近江 楓, 小池 弥宏, 須藤 寛天, 角川 航成【3年生】木藤 優弥, 黒田 廉, 黒羽 巧真, 今野 健太郎, 佐藤 豪大, 平賀 萌絵, 大友 侑果, 渡辺 滯, 小田 桐 圭吾, 鎌田 勝太, 西城 瑞樹, 高橋 諭, 本山 大湖, 渡邊 修太郎【4年生】荻原 拓真, 河崎 海王, 佐々木 大志, 鈴木 麻裕, 高森 秀真, 轟木 ひな, 中沢 奈菜, 中野 亜美, 奈良岡 咲希, 本間 汐流, 渡邊 秋音, 岩淵 明志人, 今野 龍真, 佐藤 陸, 森越 美咲



7/2. 1年生は4/3以来の通学・登校となりました。あらためて建築学部への入学の歓迎と、オンライン授業への意欲的な取り組みへの感謝と今後への激励をしました。少しずつ友人づくりも始められるか。。。という状況でしたが、再びのオンライン授業。特に1年生の皆さんは、大学(キャンパス)そのものを実感できない状況が続いています。建築学科では1年生全員から集めた「プロフィールシート」を冊子にするため作成・製本中で、後日1年生全員に配付いたします。皆さん同士でも何らかつながら試みをしてもらえるとうれしいと考えています。「建築表現」の講義では模型づくりにもオンライン写真でその取り組みを提出しました。その他の学年の皆さんにとっても不自由でストレスがたまる時間が続いていることと思います。大学・学科として出来ることを模索していきたいと思っています。



東北工業大学
建築学部
Lecture for young architects

7月24日
五十嵐太郎
建築史・建築批評家

窓学への招待

日時: 7月24日 * 16:50-18:30
対象: 本学学生
Zoom ミーティング ID: 992 4211 9893

Lecture for young architectsの第3弾は五十嵐太郎先生(東北大)でした。オンラインLiveでしたが、全国から100名を超える参加者が集まりました。建築の部位である「窓」を題材としたレクチャーは美術・芸術から漫画・映画にまで分析・考察が及ぶ、大変興味深いものでした。学生からの感想です。■窓のことだけで、こんなにも内容が濃く考えることがあるのだと圧倒されました。講演会の中で出ていた『窓と建築の格言学』を私も買ってみたいと思っています。今回の講演会を通して、五十嵐先生の展覧会にも参加したいと思いました。また機会があれば是非参加させていただきます。(1年山内悠一斗) ■今回、窓学についてのお話を聞いて、窓に対する意識と歴史について知ることができた。正直、窓はどういった位置づけにあるのか、あるいはどのような効果をもたらすのかという、私自身の考えは持っていなかった。しかし、様々な分野と窓を結びつけた研究の内容を聴き、先生も仰っていたように、建築のたった一部にすぎないけれど、とても広がりを持っているものだった。最も印象的だったのは、フェルメールの窓絵画と、そこから読み解くことのお話だ。フェルメールの作品について、無知の状態であったものの、窓のもたらす効果について私なりに納得できる部分が多く、面白かった。17世紀の頃は人工照明は開発されておらず、光の入る窓辺にアクティビティが集中するというのは、必然性であるかもしれないが、窓の歴史、技術の進化を感じられたからである。・・・(中略)・・・窓の話ではなく、質問の時間に先生自身のアンテナはどう張っているのかというのに対し、足かせぐことから始まる、というのにも心に残った。寅さんではあまりうまくいかなかったというように、うまく展開できないことも踏まえて、いろいろな場数、経験を踏んで見ていくことがあると感じた。盛り沢山の内容で、窓について無知ながら窓の広がりにも触れることができ、よかった。今後、環境工学で、窓の効果について学んでいくと思うが、今回の内容も心に留めて、窓を様々な視点から見ていきたいと思う。(1年秋葉美緒)

Pick Up Lab. 新井研究室では、古くなった集合住宅や戸建の空き家活用プロジェクトを進めています。長町南にあるシェアハウスでは、リノベーションやDIYに学生たちが参加しました。いまは居住者と近隣住民との交流イベントなど運営面のお手伝いをしています。昨年は建築家による集合住宅のリノベデザイナー等のお手伝いをしました。今年からは仙台の集合住宅や岩沼の一軒家の利活用促進計画に取り組んでいて、「空間」のみならず、利用や運営など「場」の魅力を高める計画技術を学んでいます。また、これらの取り組みで得られた知見や経験をアクションリサーチ研究として、卒業論文等にまとめています。



写真1 シェアハウス長町南の壁塗りDIYを終えて(2018)

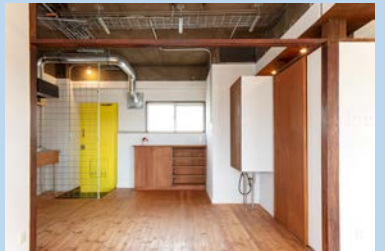


写真2 建築家と取り組んだ集合住宅のリノベーション(2019)

2年 井邊 夏摘さん
仙台向山高校 出身

Pick Up Student 昨年の4月に建築学科に入学し、高校までの普通科での学びとは全く違う新しいことを学んでいくうちに一年があつという間に過ぎた気がします。年が明け、新型コロナウイルスの流行という、今までにない状況におかれ、楽しみにしていたヨーロッパ研修が中止となりました。2年からはオンライン授業という想像もしていなかった生活が始まりました。そのため、サークル活動に参加することもできず、自宅待機という生活が続いています。その生活が始まった頃は時間を持て余し気味でしたが気持ちを切り替え資格をとるための勉強を始めることができました。これからも今できることを自分で探して挑戦していきたいです。

1年 石久保 竜斗くん
十和田工業高校 出身

Pick Up Student 私が大学に入学してからおよそ3ヶ月が経過しました。新型コロナウイルスの影響で現在もオンライン講義が続いています。しかし徐々に感染も収まり、毎週木曜日には通学できるようになりました。通学して講義を受けるのは新鮮で楽しいと感じています。週1回の通学は少ないけれど対面講義をまじめに受講し、友人も増やしたいと思っています。ここからは大学入学後に身につけたことを書きます。それはレポートを書く力です。オンライン講義後にはレポートの提出が求められます。数百字を書くことが当たり前です。そのおかげで文章の構成力とパソコンのタイピング速度が向上しました。これからもレポートを作成する上で様々な能力を向上させていきたいと思っています。